

8 PCR検査を実施している医療機関がよくわからないという声を聞きます。PCR検査の対応をしている医療機関を正確に市民に周知していくことが必要ではないでしょうか。

市では、発熱や息苦しさがあるなど、必要な方が検査を受けられるようホームページ等で受診の方法を周知しています。また、市医師会では会員全員に対し、利用について説明会を開催するなど、周知を図っていますが、市民の皆さんが安心して医療機関にかかれるよう、分かりやすい情報発信を医師会に要望してまいります。

要望3 PCR検査を受けられる医療機関を、市民に分かりやすく情報発信して欲しい。

9 新型コロナウイルス感染症の第2波、3波に向けて、今後の課題と市の対応策について伺います。

【今後の課題】

感染予防のための「新しい生活様式」の定着があげられます。そのための周知啓発、状況に合わせた市主催のイベント等の開催基準を作成し、感染リスクの低減を図ってまいります。

【今後の対応策】

今後の備えとして、マスクや消毒液などの備蓄を進め、検査体制の整備として、市医師会によるPCR検査実施の協力を仰ぎ、感染発生時に備えた体制を作ります。

また、新型コロナウイルス感染症の経験をもとに「鎌ヶ谷市新型インフルエンザ等対応マニュアル」と「業務継続計画（BCP）」を全部所で再点検し、必要な改定を行ってまいります。

まとめと要望

今後行政としては、新型コロナウイルス感染症の対策として「新しい生活様式」を一刻でも早く市民生活に定着させていかなければなりません。同時にアフター・コロナの1歩も2歩も先の対応をしなければなりません。まだまだ不透明な状況にありますが、市民・事業者・行政が一体となってこの難局を乗り越えられるように引き続き職員一丸となって頑張りたい。

宗川よういちのお得な情報！

お得なマイナポイント、準備は今から！

7月から申し込み開始！



6月会議の補正予算に、「マイナポイント設定支援業務委託事業」が計上されました。

事業の内容は、8月下旬から11月下旬までの3か月間、スマホやパソコンに不慣れな方を対象に、マイナポイントの取得に必要な設定手続き（マイナーID）などを支援するため市役所1階に専用ブースを開設し、専門の支援員を配置するものです。

マイナポイントは、マイナンバーカードの普及を進めようと総務省がキャッシュレス決済事業者と連携し、マイナンバーカードの保有者を対象にポイント還元を行うもので、9月から令和3年3月末までの7か月間実施されます。還元率は25%、20,000円の買い物での利用・チャージに対し1人あたり5,000ポイント（円相当）が付与されます。

今回の「特別定額給付金」のオンライン申請でも話題となりましたが、マイナンバーカードの取得が条件になります。また、来年3月からは健康保険証としても利用できる予定です。カードの取得には、約1か月以上かかりますので、持っていない方は是非、この時期に取得をしてみてください。

鎌ヶ谷市議会議員

好きです！このまち かまがや！

つなげよう！

～未来のふるさと、かまがやへ～



そ う か わ 宗川よういち

宗川よういち事務所 〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富3-8-47 TEL・FAX 047-412-2189 E-Mail sohka-wa-yohichi@jcom.zaq.ne.jp

新型コロナウイルス感染症対策に従事する医療・福祉関係の方々や生活を維持するため営業を続ける事業者の方々の皆様に敬意と感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が市民生活に与える影響を少しでも無くすため、5月会議を当初の予定より早めに開催し、特別定額給付金（1人10万円給付）などの事業費を可決し、マイナンバーカードによる電子申請では県内でも最も早い給付開始となりました。

その後、日本で初めてとなるワンボックス型PCR検査車の導入など、着実に新型コロナウイルス対策が進められています。

6月会議では、国や県の支援策に加え、市独自の事業として「子育て世帯の生活支援」「ひとり親家庭の生活支援」などの補正予算を可決し、今後、関連する給付金が支給されます。

また、市議会が新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市民や事業者を支援するため、議員報酬などを自ら減額しました。

さて、私が6月会議の一般質問で取り上げましたのは、中止となった3月会議の一般質問で予定しておりました「新型コロナウイルス感染症対策について」でございます。

ぜひ、市民の皆様のご意見をお聞かせください。どうぞよろしくお願ひします。

そうかわ 宗川よういち

そうかわ

宗川よういち プロフィール

昭和32年9月 東京都葛飾区新小岩に生まれる
昭和51年3月 千葉県立国分高校卒業
昭和56年3月 中央大学理工学部卒業
昭和56年4月～ 日立プラント建設(株) ((株)日立製作所と合併)
昭和59年4月～ 鎌ヶ谷市役所入庁
平成30年3月 鎌ヶ谷市役所を定年退職
平成30年7月 市議会議員補欠選挙に当選
平成31年4月 市議会議員選挙に当選
現在、総務企画常任委員会 委員長 柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合議会議員

鎌ヶ谷市東初富3丁目在住

鎌ヶ谷市青少年相談員 第10～13期
初富小学校おとうちゃんの会
中央大学白葉会 特別会員

家族 妻、娘2人、息子2人の6人家族

趣味 映画鑑賞、山登り、釣り

好きな言葉 一期一会、ありがとう



# I 新型コロナウイルス感染症対策について

## 「新しい生活様式」の定着を！

PCR検査を受けられる医療機関を、市民に分かりやすく情報発信して！

**質問の視点** 新型コロナウイルス感染症については、第2波、第3波がやってくる恐れもあり、予断を許さない状況にあります。そこで、市は「どのように『新しい生活様式』と取り組んでいくのか。」さらに、「市医師会と協力して、どのようにPCR検査の運用体制の充実を図り、市民にしっかりと情報発信していくのか」など、今後のコロナ感染症の対応策について質問をしました。

### 1 新型コロナウイルス感染症が令和2年度予算に与える影響について伺います。

歳入・歳出にわたり大きな影響が生じています。

【歳入】①法人市民税や県税は、徴収猶予による減収、②軽自動車税は、環境性能割の軽減延長による減収、③公共施設使用料は、利用制限による減収、④保育園や放課後児童クラブの保護者負担金(利用を自粛した方)は、減免による減収など。

【歳出】①市民や企業への緊急支援に要する経費、②放課後児童クラブを朝から開所した運営委託料の増額、③飛沫防止対策費、④職員の分散配置、⑤学校給食食材の契約業者への違約金の支払い、⑥指定管理者への補償などによる増額。

なお、東京2020オリンピック・パラリンピックの関係費用は執行を停止、中止となった市民まつりなど各種行事の費用は減額となる。

### 2 市の業務の中で「新しい生活様式」への対応について伺います。

厚労省では、「新しい生活様式」の実践例として、ソーシャル・ディスタンス、「3密」の回避、こまめな換気、テレワーク、時差通勤などを掲げています。

本市においても新型コロナウイルス感染症予防対策として、これらを積極的に行っており、市民や事業者にも広報やホームページを利用して周知することで感染の拡大防止を図っています。



### 3 影響を与える予算については、今後どのように対応していく予定でしょうか。

【歳入予算】市税などの減収については、令和2年度に創設された地方債の猶予特例債の活用や、地方特例交付金の交付により対応し、適切な時期に補正予算を編成します。

【歳出予算】負担増となった部分については、活用できる国・県支出金などの補助金や交付金を積極的に活用していきます。

なお、各種行事が中止になって、不要となった経費については、9月補正予算で減額することを予定しています。

### 4 市民が大変楽しみにしている東京2020オリンピック・パラリンピックや市民まつりなどの経費、この財源となる市費を「ふるさと基金」に積み上げて、市民活動を金銭面からサポートしていくという考え方について伺います。

基金への積立に関しては、予算全体の状況や今後の財政状況などを踏まえて検討することになりますが、令和3年度予算に関しては市税、各種交付金などに大きな影響が生じることを危惧しており、財政運営上の何らかの対策を講じる必要があり、慎重に検討することになります。

**視点1** 新型コロナウイルス感染症の影響もあって、令和3年度の予算は大変厳しいものになると考えられます。

### 5 予算が厳しい中で、コロナ対策に取り組んでいかなければならない現状の中、今後、「新しい生活様式」として市が取り組んでいく施策については、どのように検討して位置付けをしていくのでしょうか。

「新しい生活様式」として、今後、市が取り組むものは、政府が閣議決定した「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」や国の補正予算などにおいて①GIGAスクール構想の加速化、②遠隔教育の実現、③避難所における感染症の対応などがあげられていますので、前期基本計画または実施計画の策定の中で検討していきます。



GIGAスクール構想の実現

**要望1** 「新しい生活様式」の実践例として、示されている、テレワークやローテーション勤務、時差通勤、オンライン会議等々に加え、自治体のデジタル化の推進として、パソコンを無くすことや、マイナンバー制度の独自活用なども、今年度策定する「行財政改革推進プラン」の中で検討していただきたい。

### 6 「新しい生活様式」として、市民への情報発信の手段として、千葉県内の自治体でも新型コロナウイルス感染症に特化したAIチャットボット(※1)を導入しています。この機会を活かして、AIチャットボットの実証実験などの取り組みをすることはできませんか。

AIチャットボットの導入については、市民の利便性の向上に資するものと認識していますが、先進自治体でも実証実験中のところが未だ多く、その取り組み状況を見定めながら、今後研究していきます。



※1：AIチャットボットは、利用者が市に対して何か問い合わせをする場合に、市のホームページやスマホのアプリ上で人工知能と対話を通して適切な回答に導くシステムで、24時間365日稼働できる新しい「総合案内サービス」になる可能性があります。

**要望2** AIチャットボットについては、積極的に研究をして、早期に導入をしていただきたい。

### 7 移動型PCR検査システム(ワンボックス型)の検査の流れと鎌ヶ谷市医師会との連携について伺います。

#### 【検査の流れ】

鎌ヶ谷市内の医療機関で受診し、医師により検査が必要とされた方が「PCR検査センター」で検査を受けて、検体は民間検査機関で検査を行い、後日主治医がPCR検査の結果の連絡を行います。検査結果は保健所にも報告することになっていて、陽性の場合には保健所の指示に従います。なお、検査実施場所については非公開となっています。



#### 【鎌ヶ谷市医師会との連携】

市は、医師会が県の運営委託を受けるための諸手続きについて支援を行ったほか、PCR検査センター運営に係る支援として、消毒液や衛生材料等の物資、人的援助などを行う協定を医師会と締結をし、協力を行っています。

**視点2** 移動型PCR検査システム(ワンボックス型)の導入・運用については、市と鎌ヶ谷市医師会との連携はよく取れています。